３月のおたより

ある仏典では釈尊を「喜びをもって人に接し、しかめ面をしないで顔色はればれと、自分から先に話しかける人」として、その生涯は一切の独断や先入観から解放された「開かれた心」による「開かれた対話」に貫かれていたと伝えています。英語に訳すと同じ意味になる〝オープンダイアログ"、精神科領域での治療法としていま日本でもにわかに注目されています。８０年代にフィンランド北部から始まった主に統合失調症の治療法で、家族療法、対話療法の一環として発展してきました。これを日本で実践しているひとり精神科医の森川すいめいさんは、引きこもりや不登校のケースにこの方法を応用して効果を上げています。

オープンダイアログの実践では、その人のいないところでその人の話をしないという絶対的ともいえる原則があります。相手が子どもだとしても、子どものいない場所で意思決定をしないということです。今まで医療や福祉関係者は、問題を抱える本人や家族のいない場所で話をすることが合理的と考えていました。
人は、自分の声が届かない経験が積み重なるとやがて声をあげなくなるといいます。森川さんは、生きやすい世の中とは、だれもが当たり前に声を受け入れてもらえる場所を持つことだと言っています。私たちはこのオープンダイアローグの考え方を尊重していきたいと考えています。

（K）

＜３月度学習会内容＞

・日時：3 月 30 日（日）13：30～
・会場：新設　あわの風「open 暖話室」（館山市北条 1170-3 地図参照）

テーマ　「ネットとスマホから始まる社会参加」

副題　～ネットが不登校・ひきこもりの人たちの居場所になる～

講師：中川　美奈　先生　　親と子のネット利用を考える会主宰
千葉県四街道市在住　子供４人　不登校引きこもりの母の経験あり。
千葉大学教育学部卒業、一般企業に就職後子育てに専念する。四街道市みんなで地域づくりセンターのコーディネーター。SNS を利用した情報発信を担当。市民団体の SNS 運用の相談対応、運用支援、SNS 活用講座の開催、高齢者向けスマホ講座講師、市内小学校にて「母と子の安心安全なスマホ講座」講師

・終了後グループミーティングを行います（お話を聞くだけでも OK）
16：30 終了予定

※ご参加は無料、ご予約不要、入退室も自由ですのでお気軽にお越しください。

<お問合せ先>

〒294-0045 千葉県館山市北条 1170-3　NPO 法人あわの風　代表　加藤　峰生
☎0470-22-1390　携帯 090-2335-1338　e-mail：contact@awanokaze.org